

こんなときには 119番

どんなときに救急車を呼ぶべきか判断に困ることがあると思います。次の症状が見られるときには、直ちに119番通報をしましょう。係員が電話で状況を判断し、救急車を出动させます。救急車の必要がないと判断した場合には、適切な対処法を伝えます。また、いざというときに用意しておく便利なものをご紹介します。

大人

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつが回りにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てない
- ぐらゐにふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる
- または、真っ黒い便が出る

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識が戻らない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水に溺れている ● 高い所から落ちた

子ども（15歳以下）

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しいせきやゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血が混じった

手足

- 手足が硬直している



その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識が戻らない

やけど

- 痛みのひどいやけど ● 広範囲のやけど

飲み込み

- 物をのどに詰まらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水に溺れている ● 高い所から落ちた



救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの

- 保険証や診察券 ● お金 ● 靴
- 普段飲んでいる薬

※おくすり手帳がある場合には、一緒にお持ちください



乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- 哺乳瓶
- タオル

